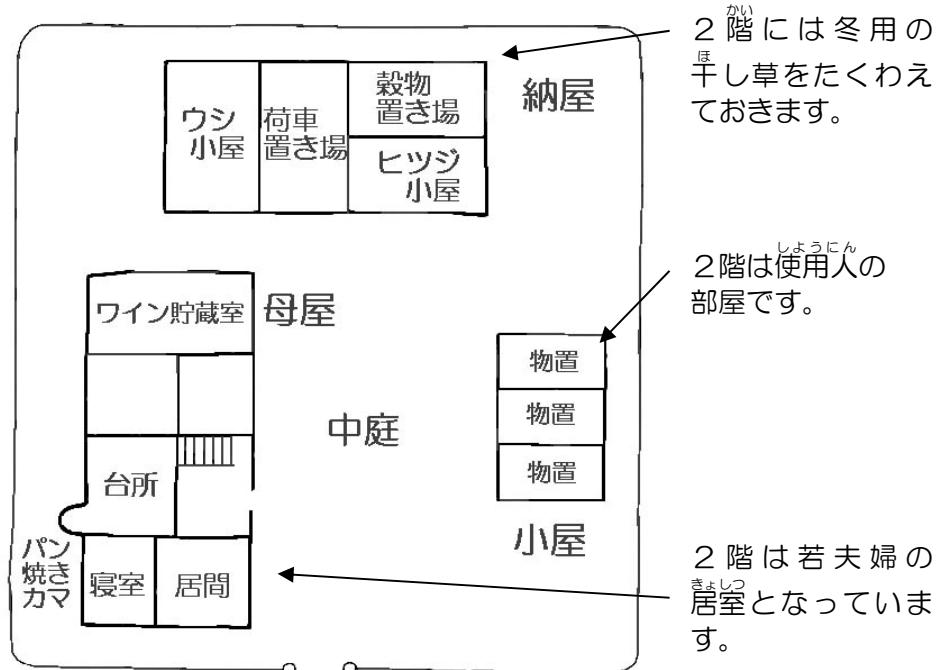


# ちほう フランス アルザス地方の家

とうほくぶ とうほくぶ フランス東北部、ドイツと国境を接するアルザス地方で、ウシやヒツジを飼うとともに、ムギ、ジャガイモ、トウモロコシ、ブドウなどを栽培している農家を復元しています。

かこ さいばい おもや な や こ や はいち 庭を囲むように母屋、納屋、小屋を配置し、1850年代、アルザスの農村に伝統的な暮らしぶりが残っていた時代の様子を再現しています。

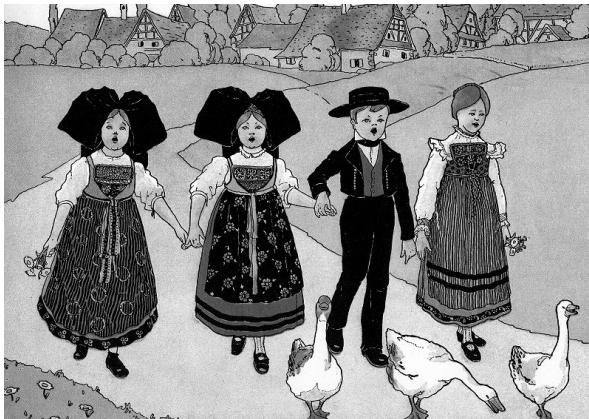


## 【内陸性の気候】

パリから東へ500kmにあるアルザス地方は、西にヴォージュ山脈があるため、大西洋の影響をあまり受けず、やや内陸性の気候となっているため、雨は年間800mmほどと比較的少なく（リトルワールドのおよそ半分）、夏暑く、冬寒い土地柄です。

## アルザスの伝統衣装

アルザス地方の女性の伝統衣装は、ギャザースカート、黒い胸飾りがついたブラウス、頭には蝶結びのリボンをついたものが一般的です。リボンをつける習慣は、19世紀初めから広まったとされています。男性は、黒いズボンと上着、赤いベストを着て、帽子をかぶります。女性のリボンは信仰する宗教によって大きさが異なっており、大きいものはプロテスタント、小さいものはカトリック教徒であることを表しています。



出典：「Mon Village」, Hansi

## コロンバージュ（木骨構造）の家

母屋は、1582年に建てられたものです。リトルワールドへ持ってくるために解体した1985年まで、9代にわたって住まわれていました。3階建て、白いしっくり壁に柱や筋かいなどが浮き出ている点が特徴です。このような建築様式は、中部ヨーロッパ独特のもので、コロンバージュ（木骨構造）と言われています。筋かいには、「ムギの穂」や「アンドレの十字架」のデザインが見られます。



### さがしてみましょう

雨戸にあいたハート型の穴は、明かりとり。

また、邪視をふせぐ魔よけの意味ももっています。

